

東京白楊だより

vol.46

2023.8.22

白楊ヶ丘同窓会東京支部
旧制函館中学校 函館中部高等学校
<https://kanchu.tokyo>

- 第46回親睦大会報告
第4回新人歓迎会報告
函・中・人 第73期 山田朗
随想 第81期 佐柳関口由佳
同期会だより 第60期 第71期
なるほど！ザ・TUBU
追悼 島津路郎さん(78期)
第47回親睦大会ご案内

函中と夏の全国高校野球選手権
なるほど！ザ・白楊祭

対面での親睦大会 四年ぶりの開催



白楊ヶ丘同窓会東京支部長
第76期 昭和49年卒

白川正広

皆様には、日頃から白楊ヶ丘同窓会東京支部の活動へのご理解・ご協力をいただき、感謝申し上げます。ここ数年は、すっかり新型コロナウイルスの影響を受けました。第44回(2019)、第46回(2021)は皆様の安心安全を考慮してオンライン開催としました。形を変えた運営でしたが、多くの同窓会会員の皆様から以前と変わらぬご支援をいただきました。

今年、なんとか、会員の皆様一同に会しての対面開催を計画しております。しかしながら、感染症法上の位置付けが引き下げられたとはいえ、未だ終息には至っておりません。そこで、従来に比べ会場の規模を少し縮小し、人数を制限しての開催となります。ご容赦ください。このような状況ではありますが、秋の1日、皆様に楽しんでいただけるよう幹事期の皆さんとスタッフ一同準備を進めております。会員の皆様におかれましては、ご自身の健康状態に留意してご無理のない範囲でご参加いただけますようお願い申し上げます。

2回の「リモート開催」を振り返りますと、本番当日に函館から、校長先生や函館の同窓会本部の役員の方に挨拶をいただきました。

また、1年目には校舎内や屋上から見える景色の中継などを教頭先生に行っていただきました。平成の初期に建て替えられた校舎は、関東在住の多くの同窓生にとって足を踏み入れたことがない空間であり、高校生の時に見た屋上からの景色と違った校舎内や周辺の風景も斬新なものでした。函館在住の幹事期の同期のメンバーの協力も得て「函館の今昔からなる動画」を作成していただきました。

昨年はリモート開催の2年目、同期の著名な方による「道南にちなんだ講演とクイズ」を配信本部と外部からの参加者をZOOMによって双方向で繋いで回答していただき盛り上がりました。いづれの会も、「50歳になった期」の皆様は幹事期として企画運営をお願いしました。この仕組みを継続した

いと考えております。30歳、40歳の頃は、仕事や子育てがたいへんで同窓会の存在は知っていても、時間を割いて行事にご参加いただくことは難しいものと思います。ぜひ、50歳を迎えて、親睦大会の幹事を担当する順番になったことを契機に、同期の皆さんとあらためて連絡を取り合っていたいだきたいと思います。このご縁で、それから先、60歳以降になっても同期の方とつながることができている幹事経験の期の皆さんが多くいらつしやいます。

また、今年は、久しぶりに「新人歓迎会」を企画しました。この春に卒業したばかりの方や学生の皆さんに集まっていたいただき、東京支部とのつながりを作っていたためのものであります。今は、LINEなどのSNSで簡単につながることができるようになりましたが、函館の親元を離れての日々の生活の息抜きに同窓会というものがあ

2度を知っていたいだきたいという趣旨です。度々の「リモート同窓会」は、それはそれで効果がありません。従来のリアル会場での方式と比べて、わざわざ都心の会場まで電車に乗って移動する必要もなく、一度、接続方法を覚えたら手軽に参加することができ、東

函館からも幹事期を中心に、ご参加者がありましたし、東北や関西方面、さらには海外在住の方にも参加を呼び掛けることが可能であり、同窓の輪を広げることによって買

『持続可能な社会の主体者の育成』 を目指した教育



北海道函館中部高等学校
第41代校長

清水信彦

(第86期 昭和59年卒)

日頃より、白川正広支部長様をはじめ、白楊ヶ丘同窓会東京支部の皆様には、本校の振興と教育活動へのご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。私は、この度の人事異動により、石狩管内江別市の大麻高等学校から赴任してまいりました清水信彦と申します。私自身、本校の卒業生で同窓会の一員ですので、母校に赴任できたことをたいへん嬉しく思っております。微力ではありますが、道内有数の歴史と伝統を誇る母校の名門中のさらなる充実・発展に尽力してまいりますので、どうぞよろしくお祈り申し上げます。紙面をお借りしまして、学校の近況等についてご報告させていただきます。

ベントの白楊祭を3日日程で、4年ぶりに一般公開で新たな企画を入れながら開催したところ、多くの来場者にお越しいただき、白楊祭は盛会のうちに終了することができました。今年はまだコロナ前に戻すだけではなく、本校ではポストコロナを見据えた教育活動の在り方を考え、実践していく新たなスタートの年となっております。

(2) 部活動

部活動については、全校生徒の加入率が約90%の中、野球部、陸上競技部、テニス部、バスケットボール部、水泳部、卓球部、バドミントン部、体操部、剣道部、弓道部、囲碁・将棋部、放送局、LMC(軽音楽部)、書道部など多くの部活動が全道大会への出場を果たし、中でも陸上競技部、放送局、書道部は全国大会への出場も果たす活躍をみせてきています。さらに、7月に野球部が選手権大会函館支部予選の代表決定戦に進み、5年ぶりに全校応援を実施しました。その応援の声を背に、見事に10年ぶりの北海道大会の出場権を手にした際には、部員と顧問はもちろん、全校生徒、保護者OB・OG、同窓会の方々など学校関係者全員で母校の勝利に歓喜し、母校愛に満ち溢れる一体感を感じた嬉しい瞬間を味わうことができました。

(4) 理数科設置2年目・スーパーサイエンスハイスクール(SSHS)指定校 4年目

国公立大学は延べ159名、私立大学・短大延べ223名、高等看護学校延べ5名、専修学校3名となっております。特に、国公立大学の現役合格者が卒業生在籍数の約70%という過去最高の合格率となりました。内訳は、東京大学2名、大阪大学1名、東北大学3名、北海道大学10名、医学部医学科7名をはじめ、難関国公立大学にも合格者を輩出しています。私立大学においても、早稲田、慶応、明治、法政、立教中央、青山学院など首都圏の大学に多数の合格者を出しており、たゆまぬ努力を続けた生徒たちの頑張りとお実績は北海道内においても高く評価されています。

ル(SSHS)の指定を受けて4年目を迎え、すべての生徒で大沼の自然環境調査、課題研究の発表、訪問するなかで、自らが問いを立て、その問いを解決するための探究的な学びを深め、世界で活躍できる科学系人材の育成を目指しています。結びになりますが、本校ではこの他にも海外6大学との連携による短期留学制度や医進型の研究指定事業の取組に力を注いでいます。が、今後も「白楊魂」を柱とした、函中の輝かしい伝統を継承しつつ、社会の動向や未来を見据えた教育活動を展開し、「持続可能な社会の主体者」を育む生徒主体の教育を推進してまいります。今後とも同窓生の皆様には、本校の教育活動に対して多大なるご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、白楊ヶ丘同窓会東京支部の皆様のご健勝をご祈念申し上げます。

(1) ポストコロナを見据えた教育活動

コロナ禍での教育活動が実に3年以上も続きましたが、5月8日に新型コロナウイルスが第5類に移行したことに伴い、基本的な感染対策は継続しながらも、ほぼ活動制限のない通常の学校生活に戻ってまいりました。特に、5月には4年ぶりに大沼での耐久レースを実施し、7月には高校生活最大イ



(3) 令和4年度(2023年度)卒業生の進路状況
この3月に卒業した228名の合格状況についてご報告いたします。



第46回

親睦大会報告
白楊ヶ丘同窓会東京支部



会場に集まった理事会メンバーと91期の皆さん

の総監督を務められた井上康生七段をはじめ20名の世界チャンピオンを育てられています。こうした功績に対して、昨年「瑞宝中綬章」を受章されました。佐藤氏の原点は函中で始めた柔道にあり、その後柔道一直線であられたという一途な人生観をお聞きし、同じ卒業生として感慨深いものがありました。



法政大学で教鞭を取られている藤田さん

【91期企画】
ここからは、今年の幹事を担当する、91期が司会を務め、「函館・道南 にちなんだ科学クイズ」を行いました。司会は91期の野中典代さん、クイズ解説は同じく91期の藤田真崇さんです。



藤田さんは、法政大学で教鞭をとられており、「NHKラジオ子ども科学電話相談」の答える先生もされております。クイズは全6問、ZOOMの投票機能を利用して、参加者の皆様がりモートで回答する形式を取り入れられました。津軽海峡のプラキストンラインの南北で生物の種類が異なること、函館の川でウナギの稚魚が確認されたお話など、楽しみながらも少し賢くなれたような時間ではなかったでしょうか。ZOOMの投票機能を駆使し、参加者の回答状況がタイムリーに配信されたり、生放送ならではのハプニングもあったり、クイズを通じて地元愛を深められる時間だったと感じます。また、藤田先生の解説、野中さんとの掛け合いも心地よく、TV番組顔負けの本格的な企画となりました。

2022年11月5日(土)、第46回白楊ヶ丘同窓会東京支部親睦大会が開催されました。今年も、コロナ禍での開催というところで、昨年引き続きZOOMを利用したオンラインでの開催となりました。より発展した形での開催を模索しながら準備を進めて参りました。当日の会場には、理事会メンバー、幹事の91期生、次回幹事期である92期生のみが参集しました。昨年と異なり、司会者、発表者はマスクを外すなど、時の状況を鑑みてやや緩和した形での開催となりました。今回の参加者は約60名でした。

【開会】
78期の岡部あさ子副支部長の司会で、開会です。オンライン会議のサポート専門業者である小瀬氏にもご挨拶いただきました。岡部さんの穏やかな語り、過去の対面での親睦大会を回想し、心が癒された参加者のかたも多



司会の岡部副支部長

【歓談タイム】
昨年に引き続き、卒業年・部活・出身中学ごとにグループ分けしたルームを設け、ご歓談いただきました。技術サポートが適宜入る円滑な進行で、皆さん和気藹々と楽しんでいらつしました。

【幹事挨拶】
91期代表の吉井恒子さんが挨拶をさせていただきました。



幹事期である91期の皆さん

【次期幹事挨拶】
92期代表の坪内君枝氏より挨拶がありました。92期のみなさん、次回の親睦大会をよろしくお願ひいたします。

かつたのではないのでしょうか。

【同窓会歌斉唱】
今年も、会場では声を出して歌うことはできませんでしたが、代わりに懐かしい画像を合わせた同窓会歌(旧制函館中学校校歌)をZOOMで流しました。

【支部長挨拶】
白楊ヶ丘同窓会東京支部長 76期白川正広氏よりご挨拶がありました。白川支部長からは、遠方からも参加可能なりモートによる親睦大会の開催の継続について前向きに捉えられている旨のお言葉がありました。



白川支部長挨拶

【ご来賓ご挨拶】
白楊ヶ丘同窓会副幹事長 84期青田基様と、函館中部高等学校教頭 佐々木真一先生より、リモートでお言葉をいただきました。中部高校においては、あらたに理数科が始まったことや、



坪内さん

【新入会員紹介】
残念ながら、出席者はおられませんでしたが、次回への期待を込め、副支部長の松永久氏(81期)に今後の展望などお話しいただきました。



松永副支部長

【校歌斉唱】
校歌をZOOMで流しました。声を出せない配信本部と大きな声で歌ってくださいオンライン参加の皆様、それぞれの心の中で校舎での思い出がよみがえり、一体となった瞬間でした。懐かしい時間もそろそろ終わり、最後に汐見和人事(89期)の音頭で三本締めをしました。

無事に白楊祭が実施され伝統が継承されたことなど、嬉しいご報告がありました。



青田副幹事長ご挨拶

【乾杯】
皆さまのお手元に飲み物をご用意いただきました。乾杯のご発声は、今年の東京白楊だよりにおいて「函中人」で紹介させていただいた64期 佐藤宣践(のぶゆき)氏にお願いしました。佐藤氏は、柔道家として世界に知られている「山下泰裕IOC委員、JOC会長」の育ての親であり、また東京2020



佐藤宣踐さんによる乾杯のご発声

【閉会】
来年は、できれば対面とオンラインの両方の形で皆様にお会いできることを楽しみにしていますとのコメントをもって閉会しました。

今回は、コロナ禍での開催2回目ということで、昨年に引き続きZOOM開催となりました。進行では、双方向コミュニケーションを取り入れるなど工夫をしましたが、まだまだ進化の余地はありそうです。親睦大会の幹事の仕事など大役ができるのか不安でしたが、多少の困難があっても状況や時流に合わせて楽しむことは可能、ということをご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

(91期 吉井恒子 記)





2022年11月5日(土)

第46回 親睦大会出席者一覧

来賓 (敬称略)

函館中部高等学校 教頭	佐々木真一
白楊ヶ丘同窓会 副幹事長	青田基(84期)
白楊ヶ丘同窓会札幌支部 幹事長	酒井純(75期)
白楊ヶ丘同窓会関西支部 支部長	寺地徹(81期)
白楊ヶ丘同窓会関西支部 事務局	高野晃(65期)

- 57期 昭和30年卒 吉田精吾
- 62期 昭和35年卒 池田長
- 64期 昭和37年卒 佐藤宣踐
- 67期 昭和40年卒 松田幹夫
- 68期 昭和41年卒 越中谷庸三 山本晴義 木戸正文 内藤和明
- 69期 昭和42年卒 伊東英一 梅田五郎 梅田やよい 江澤富士代
- 71期 昭和44年卒 佐藤昭治
- 72期 昭和45年卒 古旗邦夫
- 75期 昭和48年卒 金丸洋一
- 76期 昭和49年卒 中澤満 松井直人 白川正広
- 78期 昭和51年卒 岡部あさ子 斯波宇司
- 79期 昭和52年卒 小林聖子 柴祐子 樋口澄則
- 80期 昭和53年卒 土谷俊一
- 81期 昭和54年卒 松本由美 松永久 石田人士 渡邊由美子
- 82期 昭和55年卒 清水真
- 83期 昭和56年卒 田口志保
- 84期 昭和57年卒 今井雅子 桑村竹則
- 85期 昭和58年卒 加戸茂樹 渡邊博幸 齋藤実
- 86期 昭和59年卒 皆川有紀
- 87期 昭和60年卒 荒谷修司
- 89期 昭和62年卒 汐見和人
- 90期 昭和63年卒 新井久仁子
- 91期 平成元年卒 吉井恒子 野中典代 藤田貢崇 旭悦子 奥美穂子 中村敦子 山口佳子
- 92期 平成2年卒 坪内君枝
- 97期 平成7年卒 野村武史
- 105期 平成15年卒 小林秀輝

92期の皆さん！
待ちに待った対面の親睦大会で
懐かしい顔に再会しませんか？

今年は私たちが幹事期です。
白楊祭特集、クイズもあります！



詳しくは本誌24P(裏表紙)をご覧ください。
お問い合わせはこちら：
92ki.event.kancyu@gmail.com



※参加者合計 54名(来賓5名、一般49名)他数名
※Ogawa's iPhone7, tajimataku他、
卒業期や氏名不詳の方が数名いらっしゃいました。



建築料理人

W-CUP観戦を人生のマイルストーンにする
趣味多きファンタジスタ。ちょんまげ隊長

山田 朗

AKIRA YAMADA 73期

一級建築士 第116826号 (1978年)

【略歴】

- 1971年 函館中部高校卒業
- 1981年 株式会社機構一級建築士事務所設立
代表メンバー
- 1985年 SDレビュー入選
- 1986年 日本大学理工学部建築学科大学院
修士課程終了(都市計画研究室)
- 1988年 株式会社アルファ・コンサパトリーズ設立
(英国コンサパトリー輸入)
- 1997年 川崎製鉄デザインコンペ入選
- 1998年 武蔵野市マスタープラン策定委員
- 2005年 NPO法人 市民まちづくり会議
むさしの 理事

【FIFA ワールドカップ観戦歴】

- 1998年 フランス大会
- 2002年 日韓共同大会
- 2006年 ドイツ大会
(2010年 南アフリカ大会は棄権)
- 2014年 ブラジル大会
- 2018年 ロシア大会
- 2022年 カタール大会

●普段はどんな仕事をされているのでしょうか？
22歳よりいわゆるアトリエ事務所に入所し、5年ほど修行して、仲間と設計事務所を開設。以来約40年間に渡って主にデザイン主体の建築設計を行ってききました。
バブル時代に住宅分譲開発をするために、クライアントと共にビジネスアイデアを探しに、サンフランシスコ、NY、ボストンを巡り、建築展示会で英国のコンサパトリーに出会い感銘を受けました。翌年にはセカンドカンパニーを設立し、日本で初めてのコンサパトリーを輸入、当時英国のトップブランドだったAMDEGA社と日本の総代理店の契約を締結しました。



全英オープンゴルフで有名な
Gleneagles Hotelに代表される
AMDEGA社のConservatory

英国大使館が英国製品を日本に売り込むキャンペーンで、日本各地で製品のプロモーションを展開しました。

ました。特に積水ハウスが各地の住宅展示場にコンサパトリー付の住宅をシリーズ化したため、設計の仕事と相まって北は十勝から石垣島、西表島、波照間島まで日本中飛び回りました。
●高校時代は何部だったのでしょうか？
3年間弱小スキー部でしたが、夏はテニス部の球拾い、サッカー部の玉拾いなどしていました。

●そんなアキラさんがワールドカップの観戦にハマったわけを教えてください。
テレビ東京系列で放送されていた「三菱ダイヤモンドサッカー」という番組が好きでよく観ていました。ヨーロッパのサッカーを中心に、金子勝彦アナウンサーと、後に日本代表監督やサッカー協会会長になる岡野俊一郎さんの解説で放映されていたのですが、日本とあまりに違うワールドクラスのサッカーをみて衝撃を受けました。それからですね、いつかワールドカップに行つて観てみたいと思うようになったのは、その後、日本が初めてワールドカップに出場を決めたフランス大会から行くことに情熱を傾けるようになりました。

第4回 新人歓迎会 トラットリア・チャオ (有楽町)

日時：2023年7月2日(日) 12時～15時
会費：学生1000円、学生以外は5000円

開会挨拶・乾杯：白川支部長 司会進行：松永副支部長
閉会挨拶：岡部副支部長

69期 梅田 やよい	87期 末永 健	125期 中澤 剣生
76期 白川 正広	89期 汐見 和人	125期 佐藤 雄彦
78期 岡部 あさ子	90期 鹿野 祥子	125期 下垣内 陸
78期 垣坂 清	90期 新井 久仁子	125期 中釜 夢
81期 常陸 千尋	92期 服部 州恵	125期 宮崎 日向
81期 藤盛 隆志	92期 坪内 君枝	125期 東梅 航汰
81期 松永久	92期 林 道子	125期 豊里 巴理
81期 渡邊 由美子	99期 朝緑 高大	125期 森 博仁

(順不同・敬称略 合計24名)



今年度親睦大会
幹事の皆さん



125期の皆さん



渡邊 由美子 (81期) 記

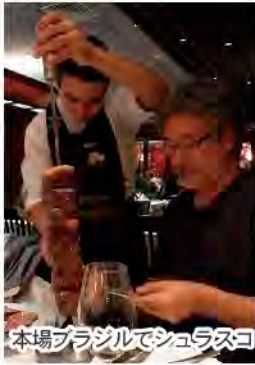


125期の皆さん

そろそろ梅雨明けかと思われる暑い日が続いた7月2日(日)、有楽町駅からほど近いイタリアンレストラン「トラットリア・チャオ」にて、4年ぶりに新人歓迎会が開催されました。
今年3月に母校を卒業した125期の皆さんは、コロナ禍と共に高校時代を過ごすことを余儀なくされた学年です。思うに任せないこともたくさんあったと思いますが、それを乗り越えて新しい一歩を踏み出した125期の皆さん、誘い合わせて8名も参加してくださいました。お迎えするメンバーは、69期から99期の16名、総勢24名の賑やかな会となりました。

歓迎会は、支部長の白川さんによる開会のご挨拶と乾杯から始まり、まずは125期の皆さん、3月初めの卒業式以来の再会という事で同期の旧交を温めていただきました。その最中、函中野球部が夏の甲子園大会の予選、北海道大会出場をかけた函館地区Bブロック代表決定戦で知内高校を破ったという嬉しい知らせが！どうも皆さん、スマホでこっそり観戦していたようです(笑)。他のお客様がいらっしゃらなければ、千代台球場の選手たちと一緒に校歌斉唱していたかもしれません。

その後は、皆さんやっとなり落ちて、食事、自己紹介など和やかに会が進行しました。最後のご挨拶を岡部副支部長から一本締めと共にいただいた後、125期の皆さんと同じくくらくらのお子様方がいらっしゃる90期新井・鹿野両理事チョイスによる食品詰め合わせをお土産にお開きです。「この後は、皆でカラオケ行こうかな」とおっしゃってた125期の皆さん。マスク無しで思いっきり歌えましたか？学びも遊びも手を抜かない函中生、昔からの伝統です。コロナ禍を経て、心も体も健康であることが大切だと痛切に思います。どうか、食事と睡眠をしっかりとして、お元気で過ごしてください！そして、11月4日の親睦大会でまたお会いしましょう！



本場ブラジルでシュラスコ



スタジアムボランティアさん

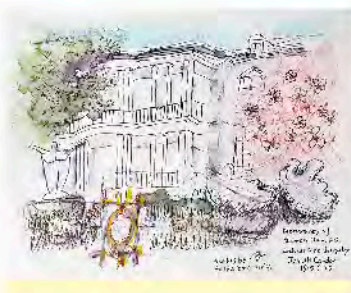
●「ワールドカップ観戦の醍醐味を教えてください」
 実はサッカーより文化的な楽しみの方が多くて、サッカー30%その国の文化を楽しむ事が70%くらいを占めている感じです。
 美術館めぐり、建築物めぐり、食文化探訪。
 ドイツでは半生ソーセージと地ビール、そしてパッハの墓参りにセント・トーマス教会へ。

●「話は少しですが、お料理上手ですか」
 母が料理好きで、小さい頃から味見をさせられていた影響で、物心ついた時には食いしん坊になっていました。それに加え、建築設計の丁稚奉公時代より食に関して幸運なことが多々ありましたね。
 「食に関する三つの目から鱗」
 帝国ホテルの総料理長だった村上信夫シェフの直属の部下、西脇部長の家の新築を担当し、時々帝国ホテルの厨房に打ち合わせに行きました。ランチを食べて行けとホテル内のフレンチでサーロインステーキを注文し、西脇部長はあのシェフハットのまま私と対面で食べましたが、未だ若造の私が恰幅のいい部長とテーブルを囲む、今考えても違和感でしかなかったと思います。サーロインステーキを前にして西脇部長はホール係を呼び醬油を持って来いと、ステーキには醬油が美味しいと言って私にも

●「話を少しですが、お料理上手ですか」
 母が料理好きで、小さい頃から味見をさせられていた影響で、物心ついた時には食いしん坊になっていました。それに加え、建築設計の丁稚奉公時代より食に関して幸運なことが多々ありましたね。
 「食に関する三つの目から鱗」
 帝国ホテルの総料理長だった村上信夫シェフの直属の部下、西脇部長の家の新築を担当し、時々帝国ホテルの厨房に打ち合わせに行きました。ランチを食べて行けとホテル内のフレンチでサーロインステーキを注文し、西脇部長はあのシェフハットのまま私と対面で食べましたが、未だ若造の私が恰幅のいい部長とテーブルを囲む、今考えても違和感でしかなかったと思います。サーロインステーキを前にして西脇部長はホール係を呼び醬油を持って来いと、ステーキには醬油が美味しいと言って私にも

●「今回はアメリカ大陸大会ですが、また行かれるのでしょうか」
 はい、4年毎のWorld Cup大会は人生のマイルストーンとして身体が続く限り参加します。
 次回はカナダ、アメリカ合衆国、メキシコの共同開催になるので、移動距離が半端ないです。日本戦の応援はPVですとすると、メキ

●「今回はアメリカ大陸大会ですが、また行かれるのでしょうか」
 はい、4年毎のWorld Cup大会は人生のマイルストーンとして身体が続く限り参加します。
 次回はカナダ、アメリカ合衆国、メキシコの共同開催になるので、移動距離が半端ないです。日本戦の応援はPVですとすると、メキ



清泉女子大学本館（ジョサイア・コンドル設計）を描く

●「好きこそものの上手なれ」
 創作する事、モノ作りが大好きで10年前より日本の伝統工芸である漆塗りを始めました。
 今年になり品川の清泉大学の100年前の校舎を見学する機会を得て、明治期に活躍したジョサイア・コンドル設計の建築に触れ、今まで静まっていた絵画を描く気持ちが起り、新たなライフワークとしてコンドル、ヴォーリーズの建築を描いて行く事に決めました。

●「最後にメッセージをお願いします」
 「好きこそものの上手なれ」
 創作する事、モノ作りが大好きで10年前より日本の伝統工芸である漆塗りを始めました。
 今年になり品川の清泉大学の100年前の校舎を見学する機会を得て、明治期に活躍したジョサイア・コンドル設計の建築に触れ、今まで静まっていた絵画を描く気持ちが起り、新たなライフワークとしてコンドル、ヴォーリーズの建築を描いて行く事に決めました。

●「感想」
 長年、同窓会報の編集長を担っていたアキラさん。料理が上手で毎回ワールドカップを観戦する、なぞのイケオジ、アキラさんどんな人生を歩んできたのかとても興味がありずっとインタビューしたかったのですが、ようやく念願叶いました。
 人生100年時代が定着しつつある今70歳を超えてもまだまだ新しいことに取り組む姿勢や、興味のあることを自分に素直に突き詰めていく姿勢は素晴らしいと思います。また、カタール大会でのゴミ拾いが世界中から称賛されました（アキラさんもちよいい映っています）が、ちょんまげ隊として被災地の子どもたちを引率し、世界を見せる活動をしていることも今回初めて知ることができ、改めてスケールのデカさを感じました。
 荒谷 修司 87期

●「感想」
 長年、同窓会報の編集長を担っていたアキラさん。料理が上手で毎回ワールドカップを観戦する、なぞのイケオジ、アキラさんどんな人生を歩んできたのかとても興味がありずっとインタビューしたかったのですが、ようやく念願叶いました。
 人生100年時代が定着しつつある今70歳を超えてもまだまだ新しいことに取り組む姿勢や、興味のあることを自分に素直に突き詰めていく姿勢は素晴らしいと思います。また、カタール大会でのゴミ拾いが世界中から称賛されました（アキラさんもちよいい映っています）が、ちょんまげ隊として被災地の子どもたちを引率し、世界を見せる活動をしていることも今回初めて知ることができ、改めてスケールのデカさを感じました。
 荒谷 修司 87期



※カタール大会観戦記は、東京支部公式サイトで8月30日より掲載予定
<https://kanchu.tokyo/wcup>

●「そもそも、ちょんまげ隊って何でしょうか」
 ちょんまげ隊の隊長、角田さん（通称：ツンさん）は靴屋さんを経営されていて、東日本大震災の時に何か支援できることが無いかと模索していたそうです。そんな時ツイッターで運動靴や靴下などが圧倒的に足りてないことを知り、「これは運動靴を持っていくしかない」と思い、現地へ赴いたのが最初のきっかけだったらしいです。それ以来、4年に一度のワールドカップやオリンピックを現地で応援し、被災地支援や障害者支援を行っています。



ちょんまげ隊長と

●「ボランティアとして被災地の子どもたちをワールドカップへ引率しているようですが、どのような思いでそのような活動をしているのでしょうか」
 今回のカタール大会では400万円の寄付金をもとに、5つの被災地から計8人の高校生、大学生を招待する「トモにカタールへ！」を実施しました。
 被災地支援のボランティアは個人では中々出来るものではないと感じていましたが、サッカー好きで自分にとってサッカーを通じてボランティア活動が出来ることがあると知り、被災地の生徒を帯同し一緒に応援する事で物的な支援では無く、人的な支援が被災地への間接的な支援に繋がればとの思いで活動しています。無理せずできる

●「今回、中東のカタールでの開催でしたが、ドーハは初めての訪問でしたか」
 実は初めてですが、40数年前にイ



被災地マップ

●「ボランティアとして被災地の子どもたちをワールドカップへ引率しているようですが、どのような思いでそのような活動をしているのでしょうか」
 今回のカタール大会では400万円の寄付金をもとに、5つの被災地から計8人の高校生、大学生を招待する「トモにカタールへ！」を実施しました。
 被災地支援のボランティアは個人では中々出来るものではないと感じていましたが、サッカー好きで自分にとってサッカーを通じてボランティア活動が出来ることがあると知り、被災地の生徒を帯同し一緒に応援する事で物的な支援では無く、人的な支援が被災地への間接的な支援に繋がればとの思いで活動しています。無理せずできる

●「今回、中東のカタールでの開催でしたが、ドーハは初めての訪問でしたか」
 実は初めてですが、40数年前にイ



生徒たちとの食事会



被災地生徒とカタール大学生との交流会

●「最後にメッセージをお願いします」
 シコのみ参戦と考えています。ちなみに、ロシア大会では2千キロ、ブラジルはそれ以上の移動距離がありました。
 メキシコのマヤ文明アステカ文明も大いに興味がありますからね。また、グルテンフリーの私としてはメキシコのトウモロコシ食文化を研究してきたいと思っています。

●「最後にメッセージをお願いします」
 シコのみ参戦と考えています。ちなみに、ロシア大会では2千キロ、ブラジルはそれ以上の移動距離がありました。
 メキシコのマヤ文明アステカ文明も大いに興味がありますからね。また、グルテンフリーの私としてはメキシコのトウモロコシ食文化を研究してきたいと思っています。



マップ写真の赤印（上）がイラン原発Bushehr地域



三吉の1ミリ 出典：Sports Illustrated NUMBER

●「当時イランからはどのように帰国したのでしょうか」
 結局イランからは船をチャーターし、カタールまでは逃げる事が出来ませんでした。しかしその後ドイツがルフトハンザ航空で救援に来る事となり、ドイツ人日本人全員がドイツのフランクフルトまで逃げる事が出来ましたので、そこから帰国する事が出来ました。未だテレックスの時代、1ドル220円くらいの時代でしたね。
 ●「ワールドカップでの思い出の試合はありますか」
 今までの大会での思い出は沢山ありますが、今回のスペイン戦での「三吉の1ミリ」を生で観ることができたのが一番の思い出になります。
 VR（ビデオ判定）が当たり前になり、ボールの中にICチップが埋め込まれ、ボールが1ミリでも線上に有ればオンの判定になります。

ん？ずっと下ばかり見て歩いて
いたけれど、ふと上をみたらな
んだか鳥もイッパイいるなあ：
そんな最初の冬がやってしまし
た。
コロナ禍2年目です。相変わらず
人と会ってはいけません。ま
ます人が見当たらない函館に
て、緊急事態宣言下の介護の日

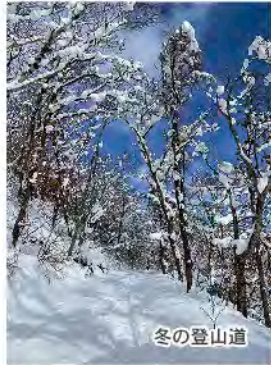


ススキロード

秋は見渡す限りの金色のススキ
ロードに色とりどりの実。虫や
鳥を誘っています。



アサギマダラ



冬の登山道



シマエナガ

々です。花も咲いてない。木の
葉の落ちてしまった函館山。
やっぱりさびしい、ひとりさは
びしい、寒い山はきらいだ。と、
ひとりゴンボホッテいたところ、
シッポの長い白いチンコイ小鳥
の群れがワラワラやってきまし
たよ。なんだっけ？これ？
あ！北海道にしかないシマエ
ナガ！
初めて見るシマエナガ、50m先
スマホで写しても「小さい白い
ナニカ」にしか映らない！
「鳥をちゃんと撮りたい」
「カメラほしい！」
国民みんながもらった、なんと



キビタキ

か給付金はここにて役に立つこ
とになりました。
冬、花のない函館山をさくさく
登ると、氷点下の寒空の下でま
んまるくなっているシマエナガ
ウソ、ベニヒワなどなど。必死
に生きているのが愛おしく、一
期一会の出会いを求めて厳寒の
山歩きも続けました。修行：
そしてふたたび春。カメラを持
って、上を見たり下を見たり
山歩き。実は函館山は渡り鳥の
宝庫としても名高いのです。
こんなにたくさん野鳥たちが
私の頭上を飛びかっていたん
だ！と発見の2年目の春。ひと
り、ふつと視線を感じてそつ
ちを見ると、鳥がいるんですよ。
「あんたもひとりかい？」
って感じで。彼らはその後、夏
の盛りに向けてお相手探しと子
育てに精を出すわけですが。
そして秋には、北海道各地で子

市電一本で自然がいっぱいのワ
ンダーランドへ行ける、すごい
街です。函館。
さてさて、60年間、花の名前も
鳥の名前も生息も全く興味のない
人生を送っていた私。名前な
んで知ってるの？図鑑で調べた
ん？
それもあります。ほとんどが
この行動制限下の山で巡り合っ
たすばらしい知見の方々の受け
売りです。静かすぎる函館山。
でも一人でそっと花を見つめて
いる方がいるのです。ひとりで



マユミの実とメジロ

育てをした鳥たちがワサワサと
函館山にまた大集合します。津
軽海峡を超える前に函館山で栄
養補給と一旦休憩。そしてエイ
や、と南に渡っていくのです。
この時期は函館山はまるでウグ
イス谷にめじろ台かの大賑わい
です。

【追記】父、関口昭平（函館
中学校 昭和二十年卒）は、
2022年12月に永眠いたし
ました。2021年の親睦大
会には、オンラインゆえ病床
の父と共に参加する事ができ
ました。大きな声でスラスラ
と同窓会歌を歌う父。函館山
山頂から望む山々の写真を見
せると、全部の山の名前を教
えてくれた父。晩年の父とそ
んな思い出を作れた事もコロ
ナにちよっただけ感謝です。

カメラを持って遠くを見ている
方もいるのです。そおつとその
方が覗き込んでいる花の名前を
尋ね、目線の先の鳥を教えてい
たきました。ここはコロナ禍
マスク越しに小声でヒソヒソと
山です。空气清新浄機よりきれいな
空気が流れているのね。
突然降りかかったような第二の
人生？函館山があり、美しい
山野草とメンコイ野鳥たちに出
会い、そして優しくてたくまし
い函館の方々と出会えました。
想定外だらけですが、結構楽し
い人生2周目の出発点だったか
もしれません。
私の故郷が函館で、
函館に函館山があつて、
「ほんんつとうに、よかった！」



GO TO 函館山!

—山野草、野鳥、そして人との出会い—



第81期
佐柳(関口)由佳

左：函館山登山道から 上：オオルリ

2020年。いよいよ81期も還
暦を迎えようとするその年。18
歳で函館を離れ、学生生活、社
会人生活、家庭生活と首都圏で
それなりにがんばって過ごして
きた人生。さて同期会も楽しみ
だなあ、というまさにその時に
親の介護とコロナ禍が同時発生
しました。
緊急事態宣言に移動制限で、函
館はまるで鎖国状態。
そんな中、横浜の仕事場がコロ
ナの緊急事態宣言で閉鎖される
事態へ。コロナ離職か？介護
離職か？と考えるまもなく気が
つけばオットを首都圏に残して
の函館介護生活が始まっていた
のでした。
行動制限、ソーシャルディス
タンス、なつかしい函館の友人に
会うどころか、閑散とした街で
マスクを探してひとりドラッグ
ストアを彷徨う日々。
孤独です。つらいです。
悲しくて寂しくて空を見上げた
ら、その向こうに函館山があり
ました。
あそこはせいぜいキツネとしか
会わんだろう、あそこに行つて
も誰も文句言わない！と水とパ
ンを買って、宝来町電停から函
館山に一直線。政府の言葉を借
りるならば

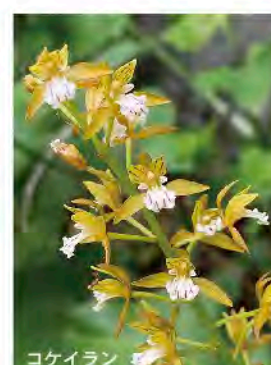


函館山要塞跡

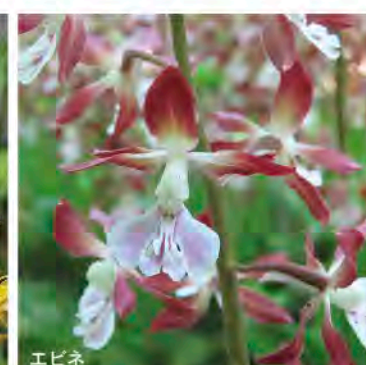


カタクリ

「GO TO 函館山！」。
その昔、白楊祭の後に真っ暗な
中を登った旧登山道・雀卓
担いで登った人もいたっけな。
今はなんだかやけに整備されて
いてスタスタ歩ける。山の上で
パンを食べて水を飲む、マスク
をはずして息を思い切り吸つて、
函館の町を見下ろした時、涙が
あふれました。
きもちいい！うれしい！おいし
い！
そして、それ以来、介護の合間
は山に直行、の日々が始まりま
す。
函館山には登山ルートが何通り
もあります。毎回あつちの道、
こつちの道と歩き回り、うっす
ら山の全体像がみえてきたか
な？というそんな頃—時は春。



コケイラン



エビネ

夏はむん！と香り高くあちこち
に木の花が咲いています。猫の
大好物のマタタビも、この頃、
かわいい花と美しい香りです。
と虫を誘います。

やっぱりひとりにはさびしい、と
うなだれたところに、
あれ？可憐な花々が。
実は函館山は、戦後まで軍の要
塞として使用されて民間人の立
ち入りが禁止されていたために、
貴重な花々が保存されている奇
跡の「花の山」だったので。
早春の花々に続き、初夏は貴重
な蘭の花々があちこちで、ひつ
そりと咲いています。

場所は全国各地から集まりやすい仙台駅集合、蔵王温泉に泊まり、松島、瑞巖寺を拝観する一泊二日の行程でした。企画当初は少なかったコロナ感染者数は7月後半から第7波を迎え増加しましたが、幹事の

誰一人弱気になる人はなく、やがて全国からの参加希望者が徐々に増えて総勢24人を数えたときは本当にうれしく思いました。幹事たちの想いを通じたのか当日が近づくとコロナ感染者数は急速に減り始め、小康状態となりました。

翌日は松島方面へ、伊達家の菩提寺でもある瑞巖寺を中心に参観しました。宮城県随一の人氣を誇る遊覧船での松島島めぐりですが、私は自由時間に昔の人力車に乗って旧街道遊覧を楽しみ、伊達家繁栄の時代を想ったりしました。



最後の仙台駅に向かうバスでお礼をのべた時に、はからずも頂いた皆さんからの拍手が私達を暖かく包み込みました。この旅の思い出を語り合えたい、という思いから、幹事一同は一致協力して企画準備に取り組み、そのために幾度も幹事会を開きました。

当時、コロナ禍も一進一退で何かと心配はしましたが、久しぶりにゆつくりと語り合いたいとの一心から、幹事一同は一致協力して企画準備に取り組み、そのために幾度も幹事会を開きました。

東北はまさに秋の旅行シーズン、おまけに当日は天候にも恵まれる最高の状況になりました。初日は蔵王エコーラインを上って紅葉をめでつつ「蔵王のお釜」までの見学。

ガイドの説明の中に、樹水のもとになるタケカンバの樹はなぜ枯れ始め、通称「賽の河原」には雑草が増え、エメラルドグリーンを湛える「お釜」の水位が徐々に減ってきているという自然環境の変化に心配する若い修学旅行生の姿がありました。宿泊地は遠刈田（とうがった）温泉のアクティブリゾート宮城蔵王。温泉はゆつたりしている

令和4年10月、三三三会（昭和33年卒の会 第60期）は全国の会員に呼び掛け、東北の温泉地に泊まる親睦旅行を企画・実施しました。

第60期 函中三三三会
65年ぶりの「修学旅行」
内藤 尚

同期会だより



し各個室も広く、会食では全員が語り合えたりでたいへん好評でした。さらにコロナ感染に対応する全国旅行支援策を受けた宮城県旅行割引の対象になるという恩恵には、皆からたいへん喜ばれました。手続きにはワクチン接種証明書や本人確認書類などの確認が必要でしたが、上平幹事のおかげで全員の手続きがスムーズにそして見事に進められ、これで割引だけでなくお土産代にも使えるクーポンももらいました。

何よりも私どもの企画に賛同し参加してくれた皆さまに心からの感謝を申し上げます。

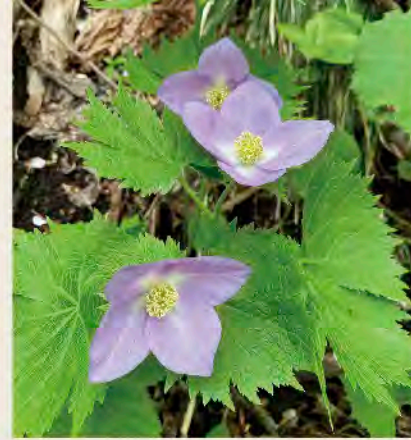
の教師の経歴もある水江先生の見事な引率のお陰で、参加メンバーが一生涯懸命見学し、学びそして楽しむことができました。旅行の企画から全行程をきめ細かく準備し、実行された飯田さん、それを助けてくれた山根さん、幹事さんには本当にありがとうございました。

幹事に対する最大の贈り物であったと改めて想い出しています。どうも有難うございました。

6月17日（土）、4年振りに「同期会」を銀座ライオン7丁目店特別席で行った。

第71期 「加納元雄君を偲んで」
成田 秀信

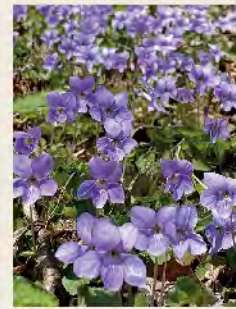
函館山 で出会ったもの



シラネアオイ

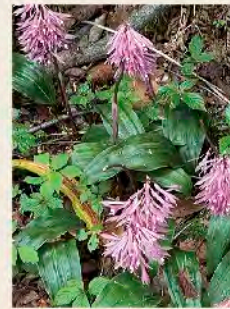


キクザキイチゲの花畑



スマレ

春の野草



サイハイラン



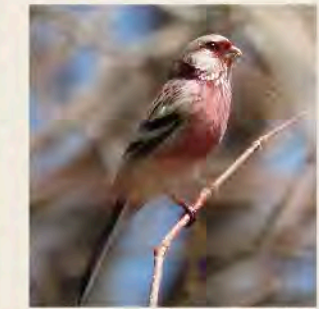
サルメンエビネ



ハクサンチドリ



ノビネチドリ

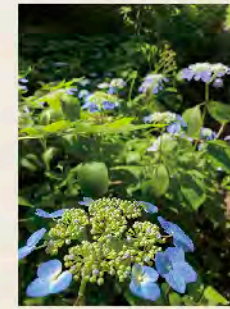


ベニマシコ（オス）

函館山の蘭



ヤマシャクヤク



エゾアジサイの群落



クルマユリ

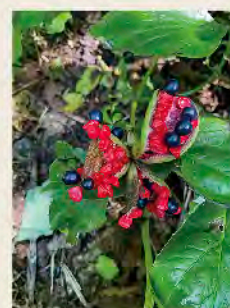


カンボクの花



ルリビタキ

夏の函館山



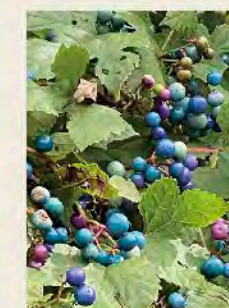
ヤマシャクヤクの実



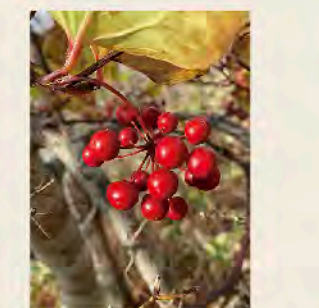
マムシグサの実



マタタビの実

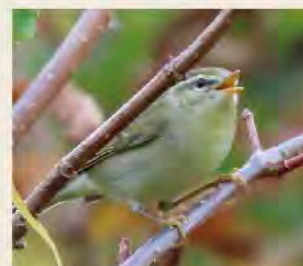


ノブドウ

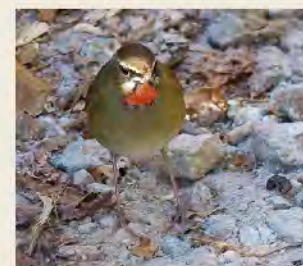


サルトリイバラ

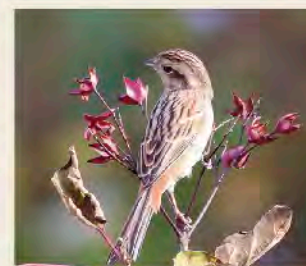
秋の実り



ウグイス



ノゴマ



ホオジロとクサギ



ベニヒワ

旅する鳥たち

後2時に我々の恩師水江先生(60期)と生徒28名が集合。北は函館から小倉君(8組)、岩手から安彦君(9組)、南は福岡から旧姓佐野さん(1組)と速い所からも集まってきた。先生を同期生と間違える輩も出てくるやら(確かにあまり変わらない)、連絡した筈だが参加名簿にないと出席する輩もいて、席は?名札は?と慌てたが、流石、加納君が鍛えた同期、用意できていないではないか。まだ2名程来ていないが始める事に。幹事から故加納君へ「献杯」を捧げスタート。今回は故加納君への思い出やエピソードと自身の近況を一人2分程度で全員語って貰う算段していたが、やはり無理。10組の幹事の私から、対面での同窓会開催参加と年会費振込のお願いをアピールして、スタート。久々に参列した生徒会仲間の坂口君(10組)は自身の結婚式に参列してくれた話。今日カメラマン役の何でも様になる千葉君(9組)等多少押ししてきたが、会が進むにつれ段々収拾がつかなくなっていく。会社から200万円を持たされて欧州へ買い出しに行かされた話、今春に受勲(瑞宝単光賞)された高野君(6組)、

おめでとう。しかし、今日は偲ぶ会だから、と時間に焦りだす幹事。いつか「俺、私のこれまでの自慢話同期会」をやる。今日参加出来なかった仲間の欠席理由など長々と話し始め、初幹事で小心な小生、会場をウロウロする始末。誰か若そうな奴が空いていた席に座っている。誰かの家族か?とヒソヒソ話。何だ遅れてきた川村君(6組)だ。加納君への思い出等を語って貰い、会もやっと終りかけてきた。が、まだ一人来ていない。「天国の声」「オイ、何で君が来ない。久々に来ると言うから楽しみにしていたのに。何、毎日が日曜日になりスケジュール管理ができず、猛省していると。うーん、でも闘病中には色々治療の相談を受けてくれたから、許すか。」

いよいよ、最後に水江先生の番がやってきた。少し前に函館へ行ってきて、青柳にある先輩である亀井勝一郎氏の文学碑を訪ねてきたとのこと。そこには自筆による「人生邂逅し 開眼し 瞑目す」と記載されていることを披露され、ダラダラと流れた会も最後締まって無事終了となった。そしていつもの集



合写真へと。16名が次の場所へ、延々と4年振り再会と加納君を偲んで続くよ、何処までも。要がない中、色々意見があるが今後は? どうする「東京支部71期同期会」.....



「もう一度聞きたい、優しいピアノ」

追悼

島津路郎さん(78期)を偲ぶ

2005年(平成17年)第28回親睦大会より、同窓会歌、校歌のピアノ伴奏を担当し、秀麗感を盛り上げて下さいました。



「島津君が先」

垣坂 清 (78期)

私は函中二年時の芸術系科目は音楽を選択しました。他の選択肢としては美術と書道があったと思います。選択科目の時間はクラスのメンバーがそれぞれ科目別の教室に分かれて授業を受けていました。音楽の授業は私たち6組と隣の5組の音楽選択者が音楽室に移動して受けることになっていました。

由実の「ベルベット・イースター」を聞き、ピアノ演奏が島津君の弾いていたのと同じだったので、驚いた記憶があります。音楽室で何度も聞き、頭に刷り込まれたので、「ベルベット・イースター」のメロディーを聞くときとピアノ小僧とも呼びたくなる島津君がうれしそうにピアノを弾いている姿をイメージするようになりました。今頃、どこかの音楽室に先入りしてベルベット・イースターを弾いているのかも.....



RORORO弟君は親睦会で校歌の伴奏を嬉しそうに弾いて印象的でしたが、余興でショパンを弾く姿も悦に入り楽しそうでした。実弟と同期と言うことで、十数年前に私の同期会と加賀廣で合同開催の折、ピアノの話をしたのがご縁の始まりです。独学で努力された弟君は、熱心で情熱的で行動力のある方。私の退職時の演奏会にも駆けつけて下さり、ご発病後も3時間近くかけて埼玉まで聞きに、そして我が家でも弾いて下さいました。副作用などで指が動かないと言う中でも本番前の私を励まし、母の介護中も温かいお言葉でお力添え下さり：神のような方です。

「もう一度聞きたい、優しいピアノ」

小野田和子(73期)

贈り物やお手紙は宝物です。2年前の発表会でパツハが好きになったと言って、来年もと選曲のお手伝いもしたのですがその後音信が途絶えました。術は無く、見守るだけでしたが、もう一度嬉しそうに弾くピアノを聞きたかった.....

1歳を迎えたと見せてくれたお孫さんの写真、新郎の父が披露宴で威厳ある風格乍ら奏する優しいピアノの音色が脳裏を過ります.....



「オシャレでパワフルな先輩」

山形リサ(94期)

ピアノの上手なオシャレな先輩。島津さんと知り合ったのは、私が海外勤務を終えて日本へ帰国した平成17年のことでした。一体いつ休んでるんだろう?と思うくらいパワフルで、あちこちで精力的に演奏活動し、周囲の方々と交流も大切にされています。



た島津さん。東京での演奏活動再開に向け動き出していた私に、いつもさり気なく声をかけてくれる気配りの人でもありました。私のピアノ教室の発表会に出演してくれたことがきっかけで、生徒同士の交流も生まれていました。音楽への情熱に溢れ、演奏の喜びというものを体現し続けていた島津さん。病気が発覚してからも「自分の演奏をじじに残すんだ」と、最後の最後まで音楽への情熱を燃やし続けていました。同じ音楽を愛する者として、こんなに強くてカッコいい人はいるだろうか.....と尊敬の念に堪えません。ご冥福をお祈りいたします。島津さん、本当にありがとうございました。

株式会社イコー建設
一級建築士事務所
代表取締役 佐藤 一廣 (69期)
〒165-0033東京都中野区若宮1-28-1 野方会館2F
電話: 03 (3223) 0168(代) FAX: 03 (3223) 0658
mail: k-sato@f-rn.co.jp

火ばしら会
東京支部
昭和42年卒業
69期

函中72期生、72才を越えて... 東京さつき会に集合
2024年5月18日(土)、5年ぶり開催決定!

函中72期東京同期会(東京さつき会)
(広告協賛) 渡部総合法律事務所 新宿御苑前 電話03-3355-5415(代)

★過去のさつき会スナップ写真★

A 意外なことに何度もあります。中部が初出場した1921年には函館市柏球場（これが今のどの球場なのかいろいろ調べたのですがわかりません。どなたかご存知の方がいらっしゃったら、お教えください！）で函館商業との決勝戦に勝ち、夏の甲子園出場を遂げています。その後は谷地頭球場、湯ノ川球場などでも行われたことがあり、1954年には千代ヶ丘球場（現オーシャンスタジアム）で開催されています。

Q2 夏の甲子園、北海道大会の決勝戦が函館で行われたことはあるか？

A いらつしゃいます。第28回全国中等学校優勝野球大会（1946年）の時の4番として活躍された沼澤康一郎氏です。プロ生活は6年ほどでしたが、南海やクルトのコーチ、さらにはスポーツ記者やテレビ解説者としても活躍されました。惜しくも1989年に58歳の若さでお亡くなりになっています。

Q3 中部出身のプロ野球選手はいるか？

番外編 全国に「中部」の名前がつく高校はあるか？

A 現在は本校以外に4校あります。富山中部高校、中部大学第一高校、中部大学春日丘高校（ともに愛知県）、築上中部高校（福岡県）です。以前は沖縄県に中部工業高校があったのですが、平成17年に校名変更で美来工科高校になりました。

ちよつとマニアックなデータ集になりましたが、お楽しみいただけましたでしょうか。
（81期 松永 久 記）



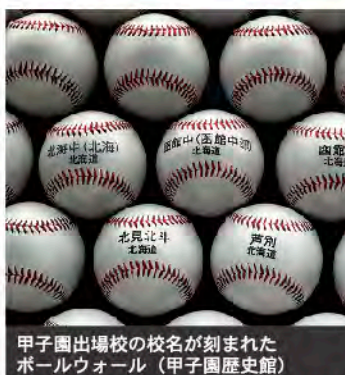
南北海道大会函館地区大会の優勝旗

東京白楊だより第42号で、現在の校歌の誕生秘話や校歌に歌われた風景、そして楽譜の変遷と改訂の話が綴られていたのは記憶に新しいところだと思えます。卒業後に校歌を歌う機会となると、各支部で開催される親睦大会はすぐに頭に浮かびますが、それ以外はぱっと思い浮かばないのではないのでしょうか。しかし、7月2日の日曜日、オーシャンスタジアム（千代台公園野球場）で行われた、夏の全国高校野球選手権南北海道大会函館地区予選決勝で知内高校に逆転で勝利し、10年ぶりに南北海道大会進出となった時に球場にいた皆さんが歌った校歌は、卒業以来歌う、久しぶりのもので、現地で歌われたOBの皆様にとつて格別だったと思います。実は、この日、東京支部では、この春卒業した125期卒業生の歓迎会を開催していたのですが、歓迎会と決勝戦の時間が重なり、9回表の場面では、会の進行はそつちのけで全員が応援していました。スマホ越しにライブで流れる校歌は、遠く離れた東京でも感動的なものでした。さて、興奮が冷めやらぬ中、7月6日に今年の幹事期である92期が、白楊祭の取材で母校を訪



清水校長先生(第86期)と

エース五十嵐君にインタビュー



甲子園出場校の校名が刻まれたボールウォール（甲子園歴史館）

て、私も同行させていただきました。そこで、今回の南北海道大会に導いた立役者の一人である、ピッチャーの五十嵐さんにインタビューできました。ちょうどこの日は南北海道大会の抽選日で、北海道と初戦で対戦することが決まった直後のインタビューでした（取材協力ありがとうございます！）。その際、決勝戦で勝って歌った校歌の感想を聞いたところ、「全校応援の中で勝利し、みんなが歌うことができたので、とても良かったです」と話してくれました。

Q1 中部は甲子園には出たことがあるか？

A 夏の選手権に2回出場しています。記録を調べると、第7回全国中等学校優勝野球大会（1921年）に初出場を果たしており、その時は1回戦で岡山一中（現在の岡山朝日高校）に3-4で敗れています。2回目は、第28回全国中等学校優勝野球大会（1946年）です。この時は1回戦が不戦勝で、2回戦で山形中学（現在の山形東高校）に13-5と勝利しました。そして、準々決勝で、この大会の優勝校である浪華商業（現在の大体大浪商）に0-6で敗れました。ということで、最高は全国ベスト8です。

なるほど! the 白楊祭



1978年の白楊祭「ディズニーランド」

てくてくと徒歩で登った記憶があります。なぜ登ったのか、理由が思い出せません。どなたかご存知の方がいらつしゃったら、今年の親睦大会の時にでも教えてください。（神の声：山頂で「告白タイムPartII（Part Iは前夜祭のフォークダンス）」もしくは、「クラス皆でハンカチ落とし、花いちもんめ」など諸説あり）

さて、長年の伝統を持つ白楊祭は、コロナ禍には様々な制約の中での開催でしたが、今年は4年ぶりに制約のない状態で行われました。そのため、テーマは、「Mission ~あの白楊祭を復活させよ~」でした。今の全校生徒は、コロナ前の白楊祭を主催者としては体験したことが一度もないので、その意味では、コロナ前に戻すだけでなく、自分たちで創り上げる、新しい白楊祭という思いもあったのではないかと思います。



五稜郭電停付近を練り歩く仮装行列

ちなみに、白楊祭は全日制と定時制が連携しての開催となっており、定時制のテーマは「一陽来復 ~一人はみんなの為に~」でした。今年の親睦大会の幹事を務められる92期から、今年の企画は「白楊祭」とお聞きしているので、これ以上はネタバレになるので、ここまでにします。なお、当日は可能であれば白楊祭で販売されたグッズの販売も行われるかもしれません。いろいろなアイテムがあるようなので、お楽しみにしてください！



「孫悟空」年代不詳

81期 松永 久（と神の声）記

会員短信

令和4年8月(令和5年7月迄)の会費の払込票と返信はがきのメッセージから



●山下二郎(S25年卒52期)
5才に函館に移り、19年を(幼小、中、高、大、院)住み、以後静岡・清水に66年。今あるのも函館で受けた教育と感謝しております。

●遠藤宏(S27年卒54期)
三カ月に一度、学士会館で昼食会を開催してきましたが、最近では能君、山崎君、谷君等亡くなり、淋しい限りです。オンラインによる親睦大会、どんなものか楽しみです。

●山田幸平(S27年卒54期)
脳こうそくりハビリで埼玉の老人ホームに入居の身で、大変な世の中で増々制限があり、皆様の発展を祈念いたし、欠席します(娘代筆)

●吉田精吾(S30年卒57期)
昨年の大会に出席し、大変楽しかったので今回もどうぞよろしくお願いいたします。

●越智馨(S31年卒58期)
80才を越えると、不自由な事も多くなりましたが、今のところ元気に家事をこなせるのが嬉しいところです。幹事の方々に感謝です。御盛會を祈ります!

●鏡原澄子(S32年卒59期)
いつも「同窓会誌」をありがたうございます。早くコロナ禍が終るといいですね。皆様お元気で!!

●古川セツ(S32年卒59期)
「東京白楊だより」を懐かしく拝読しました。
真船昭さんが万年幹事で開いて下さった同期会もコロナ禍で開催されず残念に思っております。

●飯田幸平(S33年卒60期)
コロナ感染禍の中、役員皆さんの活動に感謝しています。
●伊藤紀子(S33年卒60期)
現在82才、役に立たない日々を過ごしています。が、函館とか函中等の文字にはまだ反応する力はあるらしいです。ご盛會を祈っています。

●白戸寿男(S33年卒60期)
コロナ禍の時代ガンバッテ!!

●近藤千寿子(瀬川)(S42年卒69期)
なかなか、集まりに参加できませんが、「白楊だより」を読み楽しんでます。先日函館に行った時の場中学が無く新校舎で巴中学となっていました。

●佐藤和明(S43年卒70期)
73才、元気に過ごしています。
●佐藤勝義(S43年卒70期)
11月5日(土)当日は、剣道五段の受審日と重なり、欠席させていただきます。

●宮田司(S43年卒70期)
特にありませんが、本年5月に札幌より、東京の知人と共に同期の渡部さん、吉田さん、宇美さんが静岡に富士山を見に遊びに来られました。

●川村哲雄(S44年卒71期)
昨年のオンライン親睦大会が第3土曜日の開催でしたので、今年の人間ドック検診を第1土曜日の予約としました。逆に重なってしまい、残念ですが欠席します。来年の4年振りとなる「グランドアーク半蔵門」での従前通りの開催が出来ますことを是非とも願っています。

●神谷亮一(S46年卒73期)
盛岡市在住です。73期故水上透君に勧められて2019年2月と2020年2月の2回、東京の同期会に出席しました。東京支部親睦大会にも出てみたいですね。

●竹村弘美(S46年卒73期)
いつもありがたうございます。

●二上朝文(S41年卒68期)
埼玉日高市に約40年。ポランティア3つ程。
●金子茂子(庄司)(S42年卒69期)
白楊だより楽しく読ませていただきました。

「加納元雄君を偲ぶ会」と併せて

●鶴丸迪子(S33年卒60期)
色々御苦勞様です。対面に参加できる様になったら出席したいと思えます。

●所 明彦(S33年卒60期)
身体が衰えが際立ってきましたが、東京白楊だよりを毎年楽しく読ませていただいています。今回特に佐藤宣彦さんの早弁の話が面白かったです。早弁がみつかり豊岡先生(数学)にこっぴどくやられた男子生徒たちを思い浮かべております。

●宮川満子(S33年卒60期)
いつも白楊だよりを楽しみにしております。ありがたうございます。

●斎藤慎一(S34年卒61期)
東京白楊だよりvol.45読みこたえがありました。特に佐藤宣彦と岩本美雪の記事、良かった。上手に編集されていますね。ありがたうございます。

●米村光子(S34年卒61期)
いつもお世話いただきました。ありがたうございます。今年も「東京白楊だより」から元気をいただきました。

●市丸大平(S35年卒62期)
東京白楊だより、いつもありがたうございます。
●佐々木和夫(S36年卒63期)
残念ですが、11月5日(土)は八王子スポーツウエルネス吹矢の大会のため欠席致します。

●杉沢雅(S36年卒63期)
東京白楊だより、ありがたうございます。
初めて新幹線を利用して墓参しました。久しぶりに旧宅跡(千代ヶ岱)から、啄木小公園まで歩きまわりました。秋先、ハマナスの実が鮮やかでした。

●中村崇(S36年卒63期)
ご苦勞様です。毎回ご案内頂いて居りますが今回で東京会は退会させていただきます。札幌会に参加します。

●平間須磨子(佐藤)(S36年卒63期)
白楊だより、充実ある内容ですばらしいです。ずっと今までのものもつてあり、時にはみて楽しむこともあります。ありがたうございます。

●斎藤俊子(S37年卒64期)
白楊だより、有難うございます。佐藤宣彦さんとは、小・中学校から同窓で、ご活躍の詳細嬉しく拝読致しました。元気をいただく事が出来ました。

●佐藤宣彦(S37年卒64期)
オンラインでは有りますが、久しぶりに親睦会への参加は楽しみにしています。

●山崎栄治(S37年卒64期)
夫(山崎栄治)はアルツハイマー病が進行して来ましたので、5月よりホームに入居致しました。豊かな自然の中で心穏やかに過ごして居ります(妻 山崎陽子)

●三宅一俊(S46年卒73期)
いつも案内、データの取りまとめ、ありがたうございます。

●伊藤正明(S47年卒74期)
皆様と再会できる機会を楽しみにしております。

●川原真理(S48年卒75期)
まるで長い眠りから覚めたかのよう、35年の専業主婦生活から抜け、学習指導の仕事に飛び回っています。現在は、塾講師&家庭教師としてフル回転しています。

●金丸洋一(S48年卒75期)
今年もオンラインで参加いたしました。ちよつと物足りない面もありますが、このご時世で仕方がないのか、と思っております。11月5日は元気な姿でみなさんに会えることを楽しみにしています。

●宮下知子(S48年卒75期)
NHKBスワールドニュースのロシアニュースの通訳は今も続けています(33年目)歌手活動は、加藤登紀子さんと同じステージに立つなど充実した2022年でした。シャンソンとロシア歌謡をうたっています。同窓の皆様にも聴いていただく機会がありますように。

●赤坂彰彦(S49年卒76期)
定年せずに、そのまま病院に勤めています。コロナ患者が押し寄せると、土曜日は休めない状況が続いています。

●小泉勉(S49年卒76期)
小生も勤務がEテレでは無くなり、時間も出来たので、初めてですが参加させていただきます。

●曾我正彦(S49年卒76期)
同窓会の運営、お疲れ様です。

●阿部明夫(S48年卒75期)
きれいなリーフレットをどうもありがたうございました。コロナ禍はなしくずし的に「これはもうウイズIIコロナなのか」と思っています。皆様お元気でお暮らし下さいませ。

●池田新(S47年卒74期)
幹事の皆様、ご苦勞様です。

●藤 晶子(斎藤)(S47年卒74期)
昨年末に引越して住所を変更いたしました。再送していただき、本当にありがとうございます。

●掛川祐子(S48年卒75期)
いつも白楊だよりを送ってください。ありがとうございます。今回の表紙は私の中では日本一有名な坂と思っております八幡坂ですね。実家のすぐそばにあります。9月に帰省した折にはゆつくり上り下りしてみようと思っております。皆さま、ご自愛くださいませ。

●越前彬(S38年卒65期)
東京白楊だより、ありがたうございます。御無沙汰しております。私(越前)は住所不明者になっておりましたが、同期の北村、鎌田君が捜してくれ、白楊ヶ丘同窓会東京支部があることを知りました。白楊だよりを見て、なつかしさを一杯です。パソコン等は出来ません。今後ともよろしく御願致します。

●小嶋正蔵(S38年卒65期)
毎年この時期は地元のイベントに参加していますので、残念ながら欠席させていただきます。オンライン開催も大変結構ですが、対面での同窓会が待ち遠しいですね。盛會を祈念申し上げます。

●市中栄一郎(S40年卒67期)
今回も残念ながら出席出来ません。安田康次(S40年卒67期)
コロナ感染がなかなかおさまらない中、ご苦勞様です。

●川原真理(S48年卒75期)
まるで長い眠りから覚めたかのよう、35年の専業主婦生活から抜け、学習指導の仕事に飛び回っています。現在は、塾講師&家庭教師としてフル回転しています。

●川原真理(S48年卒75期)
まるで長い眠りから覚めたかのよう、35年の専業主婦生活から抜け、学習指導の仕事に飛び回っています。現在は、塾講師&家庭教師としてフル回転しています。

2022年度収支実績および 2023年度予算 (単位:円)				
	2022実績	2023予算		
収入	年会費収入	843,000	1,050,000	
	大会費収入	0	880,000	
	寄付金収入	244,000	250,000	
	会報広告収入	70,000	70,000	
	その他	100,006	0	
	合計	1,257,006	2,250,000	
支出	大会関連費用	498,208	1,000,000	
	会報関連費用	710,502	715,000	
	その他事業	27,438	70,000	
	諸会議費	104,035	120,000	
	通信運搬費	21,149	30,000	
	派遣交通費	13,730	100,000	
	その他運営費	173,206	185,000	
	予備費	0	30,000	
		合計	1,548,268	2,250,000
	差引収支残	-291,262	0	
次期繰越剰余金	4,674,739	4,674,739		

日時：2023年4月25日(火) 18:45~19:30 出席者：23名
場所：インテリジェントロビー・ルコ D2会議室(新宿区湯場町)

＜2023年度評議員会報告＞

2023年度の評議員会は、4年ぶりに対面で開催し、以下の(1)~(4)につき、すべて承認を頂いた。

(1)2022年度事業報告

新型コロナウィルスの拡大により、新人歓迎会は中止となったが、親睦大会はオンラインで開催した。また、東京白楊だよりは、24ページでの発行となり、コロナ前の水準に戻すことができた。理事会は、2022年度も対面での開催を避け、オンライン会議の形式で開催した。

(2)2022年度収支決算報告

昨年も、多くの皆様に年会費をお支払いいただく機会である親睦大会を対面で開催することができなかったため、差引収支は昨年度の黒字から一転して291,262円の赤字となった。2023年度も厳しい事業環境が続くと考えており、引き続き収支改善の実現を図りたい。
なお、真船監事より監査の結果、収支決算書が正しいことを確認したとの報告を頂いた。

(3)2023年度事業計画案

新人歓迎会は、新型コロナウィルスの感染拡大の動向を見極めながらも、実施の方向で考えることとなった(なお、別掲の通り、7月2日に開催し、125期の新人8名が参加した)。
親睦大会は、4年ぶりに対面での開催を予定している。なお、今年は大会の様子をライブ配信(無料)することを予定している(詳細はP24裏表紙)。
東京白楊だよりは、昨年度同様24ページを想定している。
その他、支部活動の活性化をはじめ、アフターコロナにおいても持続的な活動ができるよう、種々の事業の実施を計画している。

(4)2023年度収支予算案

2022年度の収入・支出額それぞれの実績ならびに、2023年度の活動計画を踏まえ、年会費の増収と諸経費の節減を織り込み、収入支出とも225万円の予算とした。

(5)役員を選任及び異動の件

今年度は、改選期ではないため、役員を選任及び退任はない。

松永 久(81期)記

年会費のお振込みをお願いいたします

白楊ヶ丘同窓会東京支部は、会員の皆様からお寄せいただく年会費やご寄付により運営されております。年会費:3000円(80歳まで)
会計に関するお問合せ:payment@kanchu.tokyo(81期 渡邊)

年会費は、以下の方法で納入いただくことができます。

1 会報に同封の払込取扱票(払込料金東京支部負担)を利用する

※2022年1月より現金でのお支払いは手数料110円がかかります。
※お送りした払込票を紛失されるなどしてご自身で払込票を記入される場合、加入者名は「白楊ヶ丘同窓会東京支部」、口座記号番号は「00190-1-124291」です。

【寄付について】東京支部では80歳(今年は64期)までの皆様に年会費の納入をお願いしております。それより上の期でご寄付をお考えの方、また下の期の方で年会費以外にご寄付をお考えの方は引き続きご支援宜しくお願い申し上げます。

2 払込票を使用せず、ご送金いただく場合

便利なインターネットバンキングで送金したい等のお声をいただき、以下口座を開設し、ご利用いただいております。

銀行口座名称：「白楊ヶ丘同窓会東京支部」(4行とも)

みずほ銀行	溝ノ口支店	普通	2712051
三井住友銀行	鎌倉支店	普通	0202759
三菱UFJ銀行	用賀出張所	普通	0107761
ゆうちょ銀行	〇一九店 (ゼロイチキョウ)	当座	0124291

振込人氏名欄はスペースを空けず、「期→卒年→氏名」の順でご記入ください。例：81S54ワタナベユミコ
振込手数料が必要な場合は、恐れ入りますが、振込人様のご負担をお願いします。

ご寄付御礼 (敬称略)

昨年度は47名の方からご寄付を頂戴いたしました。中には、ご逝去された方もいらっしゃいますが、ご遺族様のご厚意によりお届けいただきました。ここにお名前を掲載し、御礼に代えさせていただきます

46期 岡本榮二	60期 飯田幸平 伊藤紀子 白戸寿男 所明彦 内藤修子	73期 葛西浩
51期 小野寺吉彦	61期 内藤尚 水江彰一 宮川満子 渡辺章子	75期 千島秀子
52期 山下二郎	62期 斎藤慎一 村本光彦 三上和子 米村光子	76期 中澤満
54期 後藤泰雄 山田幸平	64期 池田成昭 池田長 市丸大平 酒井隆行 田村雅英	78期 廣林範彦
57期 水江晋一	65期 佐々木京子 二宮信子	85期 柳川清尊
58期 越智馨 川崎洋子	66期 越前彬	87期 荒谷修司
59期 鏡原澄子 古賀裕美 坂口義弘 田中二仁	69期 鈴木健二	89期 越前屋薫
新田正勝 古川セツ 真船昭	72期 渡部敏雄	92期 服部州恵
		112期 村越貴仁

●高山悦子(石井)
(S49年卒76期)
「東京白楊だより」ありがとうございます。いつも楽しく拝見させていただいております。いつも楽しく拝見させていただきます。

●平澤博(S49年卒76期)
新潟競馬場のレースコースを作ったり、天然ガスパイプラインを新潟から静岡まで埋めていったり、北陸新幹線のトンネルを掘ったりしてきましたが、いよいよ令和5年3月で仕事を離れる事にしました。

●松井直人(S49年卒76期)
毎年「東京白楊だより」をお送りいただきありがとうございます。世の中が落ち着いて、同期会など開催できるようにになりました。また参加したいと思っています。年に1~2度は函館に帰っています。

●山森一(S49年卒76期)
今年7月をもって退職しました(42年勤務の一社一筋でした)「Sunday毎日」の暮しに入りましたが、あれやこれやと今までの整理、これからの準備とすることがあります。11月に会場に集まり、東京支店の(失礼東京支部)顔をつきあわせたいん会、やりたいです！来年こそ。

●大久保博生(S51年卒78期)
会報を通じ、同窓生の元氣な様子に励まされます！

●木村明弘(S51年卒78期)
理事、幹事の皆さん、いつもありがとうございます。コロナ禍の中でも、いろいろと工夫されご苦心重ねられながらの尽力に感謝致します。いつか集える時を楽しみにしております。

●長澤一徳(S51年卒78期)
会報有難うございます。早くリアルで集える会が出来るといいですね。土曜が都合が悪くなり参加できません。盛会になれば良いですね。

●成田吉道(S51年卒78期)
早くコロナがおさまって、また皆で一同に会せる日を楽しみにしています。

●山平匡人(S51年卒78期)
今年は仕事の為参加できません。御盛会をお祈り申し上げます。

●土谷一彦(S52年卒79期)
60才過ぎて、体が疲れやすくなってきました。自治会役員をつとめており、コロナが落ちついて秋の行事と重なっております。今回は欠席とさせていただきます。

●山本恭之(S52年卒79期)
9月に初孫が生まれました。本物のジジイになりました。

●児島美世子(S53年卒80期)
今回は引越に伴いまして参加が叶いませんでしたが、次回は出席させていただきます。ご盛会を祈念いたします。

●高橋伸明(S59年卒86期)
ご案内ありがとうございます。今回は調整がつかず親睦大会は欠席致します。このような状況ではありますが、皆様には健やかに過ごしていただけますようお願い致します。

●田中誠至(S57年卒84期)
コロナ禍の環境下、なかなか函館にも帰省できず、またリアルでの会食も難しい中、この様なオンラインでの同窓会は大変貴重です。幹事、事務局の方々の御苦労には頭が下がります。有難うございます。

●幡谷恵(大久保)(S58年卒85期)
ご案内ありがとうございます。コロナの第7波では自宅療養者に薬を自宅にお届けする件数もだいぶ増えました。プライベートでは娘が結婚しました。早くコロナがおさまり、同窓会(リアル)も出来るとうれしいです。

●柳川清尊(S58年卒85期)
コロナ対応で多忙のため欠席でお願い致します。申しわけございません。

●酒井耕一(S59年卒86期)
義弟の結婚相手の父上が同窓の大先輩です。いつか、このだよりに写真を送りたいと願っております。同窓生の皆様の益々のご発展を祈念しております。

●宮崎輝(H1年卒91期)
2021年6月より京都市に移りました。会社の転勤です。

●萩野真輔(H4年卒94期)
親睦大会の成功と皆様の御健康、御活躍を御祈念致します。



函館の写真募集中!



募集! 自薦他薦問わず

随想 募集します
伝えたいことなど
1000字程度で
お送りください

1コマ高24x幅95mm
5000円
2コマ10000円
4コマ20000円

広告募集

お問合せ・お申込み kaihhou@kanchu.tokyo



行政書士白川事務所
代表 白川正広(76期)
mail: shirakawamasa@ybb.ne.jp
https://shirakawamasagyosei.com/



弁護士 加戸茂樹 (85期)
(第二東京弁護士会所属)

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-8-3 四谷三信ビル5階
四谷東法律事務所
電話 03(5366)1601 FAX 03(5366)1602

行政書士白川事務所
代表 白川正広(76期)
mail: shirakawamasa@ybb.ne.jp
https://shirakawamasagyosei.com/

白楊ヶ丘同窓会 東京支部 第47回親睦大会のご案内

ライブ配信(無料)
詳細は東京支部
サイトにて
お知らせします!



今年の親睦大会は、4年ぶりの対面での開催です!ただし、感染対策上ご参加いただける人数に制限があるため「お申込み先着順」での受付となります

とき 2023年11月4日(土) 13:00開始 (12:30受付開始 15:30終了予定)
ところ アルカディア市ヶ谷(私学会館) 5F 大雪 **参加費** 8000円 学生無料 (ただし年会費3000円納入者のみ適用・当日会場での納入可)

発行人 白楊ヶ丘同窓会東京支部
白川正広(76期)
編集責任者 荒谷修司(87期)
発行日 令和5年8月22日



ご自身の健康状態に留意して、ご無理のない範囲で
ご参加いただきますようお願い申し上げます。

アルカディア市ヶ谷 ご案内

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25
TEL : 03-3261-9921(代)

ACCESS <https://www.arcadia-jp.org/>

- ・JR中央線(各駅停車) 市ヶ谷駅から徒歩2分
- ・地下鉄 有楽町線・南北線 市ヶ谷駅(A1-1) 出口から徒歩2分
- ・地下鉄 都営新宿線 市ヶ谷駅(A1-1・A4) 出口から徒歩2分

白楊ヶ丘同窓会東京支部の皆様、4年ぶりの対面での親睦大会開催のお知らせです。

イベントの企画、運営担当は、東京支部理事会のメンバーの方々と共に、平成2年卒業の第92期が務めさせていただきます。バブル期に高校時代を過ごし、卒業後にバブル崩壊、激動の平成と共に壮年期を過ごして来た私たちです。

親睦大会は、緊急事態宣言が初めて発令された年の第43回は中止になり、その後2回は、オンライン開催となりましたが、母校の白楊祭においてもこの3年間は、制限のある中での開催でした。今年は4年ぶりに一般公開復活での3日間開催となりました!



後輩達のこの喜びと、成功への意気込みを皆様には是非ご覧いただきたいと思い、学校にお願いして取材させていただきました。

校舎も、私達の頃の面影は無く、新しく建て替えられましたが、白楊祭もまた色々様変わりしました。それらの様子と生徒の皆さんの熱意をご紹介します。クイズ形式で楽しんでいただきたいと思います。今回は、久々に対面で会う事のできる貴重なチャンスでもあります。お誘い合わせの上、お集まり下さい。


(92期 幹事一同)

参加お申込みについて

以下の2つの「Step」を経て、受付完了となります。

《Step1》(いずれかの方法をお選びください)

① Web申込(推奨):
8/30(水)~10/14(土)
東京支部サイト<https://kanchu.tokyo/>から、または右のQRコードより専用フォームへ移動し、必要事項を入力後送信してください。



② ハガキによるお申込み
返信用ハガキに必要事項をご記入の上、10/14(土)必着でご返送ください(郵送料不要)。

《Step2》
東京支部より、「受付完了のお知らせ」をメールまたは葉書にて、お送りさせていただきます。これをもって受付完了となります。お知らせは当日まで大切に保存してください。

※参加希望者が定員を超えた場合、最終締切日前に受付終了となります。最新のお申込み状況は、東京支部サイトに随時更新しますので、お申込みの際の参考にして下さい。
※当日の飛入り参加は、恐れ入りますがお受けできません。
※お問い合わせは、専用フォームまたは、メールevent@kanchu.tokyo で受付担当渡邊までお願いします。

東京事務所 〒210 0846 白川正広 方 044 366 2203 神奈川県川崎市川崎区小田6-7 607

白楊ヶ丘同窓会東京支部
ウェブサイト
<https://kanchu.tokyo>



校正協力(87期)
池田智之・海老名徹・栗山ゆかり・澤口亜樹・中谷考志・三千苅俊之・山科直樹
2ページ写真
小葉松隆 第87期
事務局のメールアドレスが変わりました
kanchu@kanchu.tokyo

4年前 突然やってくるCOVID-19、様々な制限のある中、発行を続ける事ができましたのも皆様のご協力あつての事と心よりの感謝を申し上げます。なかなか終息に至らない中でも、皆さん前を向いて歩んでいらつしやることを感じていただけましたでしょうか。
(渡邊 由美子 81期)

両中人の山田さん、GOTO両館山!の佐柳さん、それぞれとも興味深い内容になりました。人生100年時代、50歳からの人生をいかに豊かに過ごすのか。やはり健康であることが基本です。皆さんは何か運動していますか?僕は運動不足解消のため毎日一万歩を目標にウォーキングしていましたが、最近目標を1日10キロのジョギングにバージョンアップし、涼しい早朝か夜に毎日走っています。来年の今頃まで続いているかな?
(荒谷修司 87期)

編集後記